

令和6年6月の思いやり通信



温暖化ガス 畜産1割減 味の素、飼料用栄養剤

*味の素は世界で畜産由来の温暖化ガスの削減を支援します。
*独自開発した栄養剤を飼料に混ぜて牛に与え、排泄物の余剰物質を減らしたり、肥育期間を短くしたりすることによって、排出量を1割程度減らします。

畜産由来の温暖化ガス 全排出の14%占める

*世界の温暖化ガスの総排出量のうち、畜産分野は14.5%を占めます。
*牛はげっぷやおならにメタンが多く含まれ、温暖化ガスの排出量が多いです。
*家畜別のメタンの排出割合で牛は7割超を占めます。

(2024年5月12日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



「グリーン製品」普及後押し CO2削減量に算定基準

経産省検討 消費者への購入補助も

*経済産業省は、製造時の二酸化炭素(CO2)など温暖化ガスを減らした鉄鋼や自動車の普及を後押しします。
*削減量の算定方法を新たに定め、各社が導入することで脱炭素への効果を明示できるようにします。
*製造時の温暖化ガス排出の削減量に関して、国内外で統一した算出方法は確率されていません。
*自動車や住宅を購入する最終消費者に環境負荷をわかりやすく伝えるための認証制度も検討します。

(2024年5月28日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

